

2024年7月29日

「2024年4～6月期業況アンケート調査」結果 (2024年7月調査)

全産業の業況感は2期ぶり改善も、先行きは再び悪化

照会先 一般財団法人長野経済研究所
調査部（担当：桑井、中村）
電話 026-224-0501



業況アンケート(2024年4~6月期 自社業況判断)から

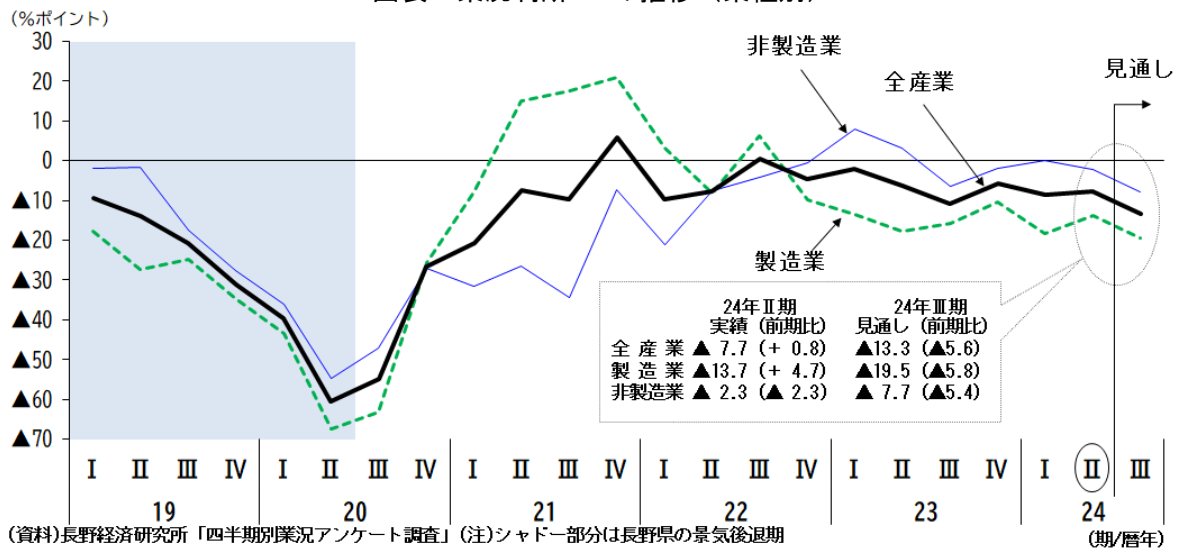
○製造業の業況感が2期ぶりに改善

- ・ 24年4~6月期の県内企業の業況判断DI（業況が「良い」と答えた企業割合－「悪い」と答えた企業割合、%ポイント）は、全産業が△7.7と前期に比べ0.8ポイント上昇し、水面下ながら2期ぶりに改善した（図表1）。
- ・ 業種別では、製造業が△13.7と前期に比べ4.7ポイント上昇し、2期ぶりに改善した一方、非製造業は△2.3と同2.3ポイント低下し、3期ぶりに悪化した。
- ・ 規模別では、大企業製造業が+2.6と前期に比べ26.9ポイントの大幅な上昇となり、6期ぶりにプラスに転じた。一方、非製造業大企業は+3.1とプラス水準を維持したものの、前期に比べ21.2ポイント低下した（図表2）。
- ・ 24年7~9月期は、全産業が△13.3と今期に比べ5.6ポイント低下する見通し。業種別では、製造業は△19.5と同5.8ポイント、非製造業は△7.7と同5.4ポイント低下する見通し。
企業規模別では、大企業製造業は今期にプラスに転じたが、△18.0と再び大幅な悪化見通し。
- ・ 24年4~6月期の売上高は、非製造業は前年並みとなったが、製造業は前年を下回った。7~9月期は、非製造業は前年並みを維持し、製造業は前年を下回る見込み。24年4~6月期の経常利益は、非製造業は前年並みとなったが、製造業は前年を下回った。7~9月期は製造業、非製造業ともに前年を下回る見込み（図表3、4）。
- ・ 雇用水準DIは、非製造業の不足感が再び強まったほか、設備水準DIは、製造業ではほぼ適正水準となっている。（図表5、6）。

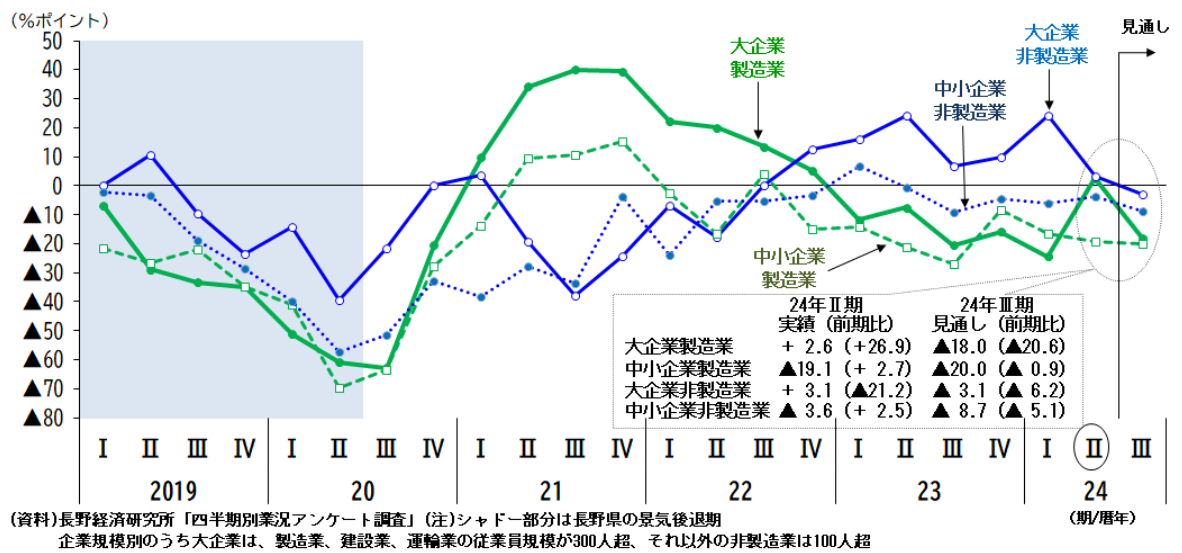
○今回調査のポイント

- ・ 24年4~6月期の製造業は、中国景気の減速やPC・スマートフォンなどIT関連需要減少の影響が継続したことで電子部品・デバイスや生産用機械の受注・生産回復に遅れがみられたものの、自動車関連需要の改善などにより業況感は2期ぶりに改善した。非製造業は、小売業や宿泊・旅客といった観光関連サービス業での客数増や客単価上昇により業況感は改善したが、機械器具卸や貨物の受注が低調で、全体の業況感は3期ぶりに悪化した。
- ・ 24年7~9月期の製造業は、中国景気の減速やIT関連需要の弱さが続くと思われるほか、自動車の認証不正の影響で先行きの自動車需要に対する慎重な見方もあり、業況感は再び悪化する見込み。非製造業は、観光面では国内客やインバウンド需要が底堅く推移するとみられるものの、コスト上昇や人手不足に対する懸念などから、業況感はさらに悪化する見通し。
- ・ 今後は、製造業ではIT関連需要の持ち直しや自動車関連需要の動向、非製造業ではコスト上昇分の価格転嫁の動向や人手不足下での需要取り込み状況が注目される。

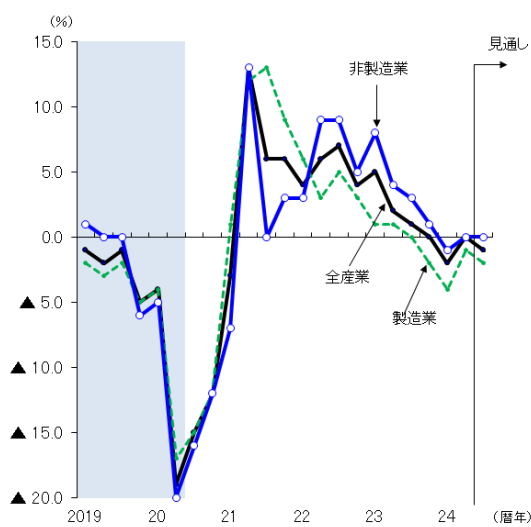
図表1 業況判断DIの推移（業種別）



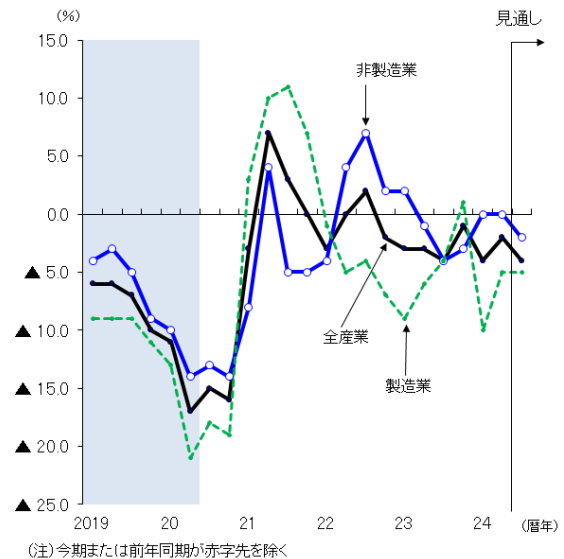
図表2 業況判断DIの推移（規模別）



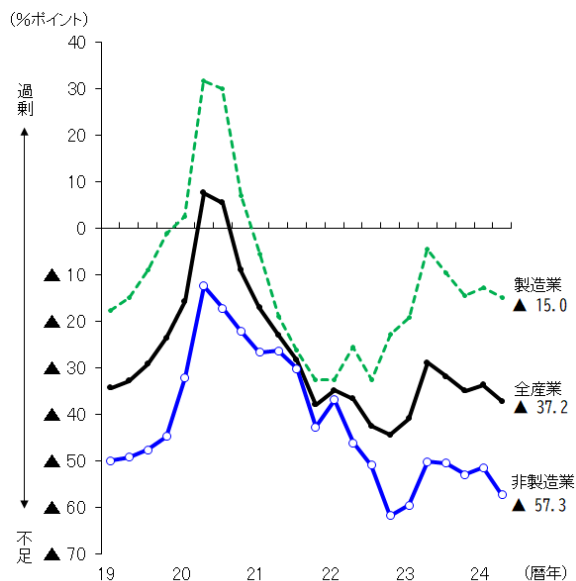
図表3 売上高の推移（前年同期比）



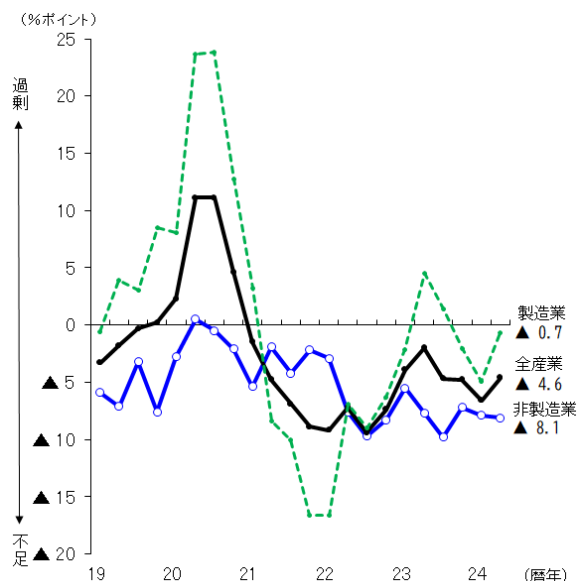
図表4 経常利益の推移（前年同期比）



図表5 雇用水準DIの推移



図表6 設備水準DIの推移



<各DIの推移>

□ 業況判断DI (業種・規模別) (回答社数構成比「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種		2023年 4~6月	7~9月	10~12月	2024年 1~3月	4~6月	7~9月 見通し
全産業		▲6.4	▲10.7	▲5.8	▲8.5	▲7.7 (▲17.3)	▲13.3
製造業		▲17.7	▲15.8	▲10.3	▲18.4	▲13.7 (▲26.2)	▲19.5
非製造業		3.3	▲6.3	▲1.8	0.0	▲2.3 (▲9.7)	▲7.7
卸小売業		8.4	▲10.5	▲2.8	0.0	▲17.9 (▲13.6)	▲17.9
建設業		▲11.1	▲15.9	▲5.2	7.0	2.5 (▲13.9)	▲12.8
サービス業		7.7	4.7	1.7	▲5.4	11.0 (▲1.7)	6.3
規模別	製造業						
	大企業	▲7.5	▲20.5	▲15.8	▲24.3	2.6 (▲21.6)	▲18.0
	中小企業	▲21.2	▲27.1	▲8.4	▲16.4	▲19.1 (▲27.9)	▲20.0
	非製造業						
大企業	24.1	6.9	10.0	24.3	3.1 (6.0)	▲3.1	
中小企業	▲0.6	▲9.0	▲4.4	▲6.1	▲3.6 (▲13.7)	▲8.7	

※括弧内は前回見通し

□ 雇用水準判断 DI (回答社数構成比「過剩」-「不足」・%ポイント)

業種		2023年 4~6月	7~9月	10~12月	2024年 1~3月	4~6月	
全産業		▲28.9	▲31.9	▲35.0	▲33.7	▲37.2	
製造業		▲4.5	▲9.6	▲14.5	▲12.8	▲15.0	
非製造業		▲50.2	▲50.5	▲53.0	▲51.5	▲57.3	
卸小売業		▲45.8	▲41.8	▲44.3	▲34.8	▲53.7	
建設業		▲60.0	▲56.8	▲59.0	▲69.8	▲62.5	
サービス業		▲48.4	▲55.5	▲59.6	▲57.1	▲57.8	
規模別	製造業	大企業	▲5.0	▲12.8	▲18.4	▲8.1	▲23.1
		中小企業	▲4.2	▲8.5	▲13.1	▲13.6	▲12.1
	非製造業	大企業	▲69.0	▲65.5	▲63.3	▲63.6	▲71.9
		中小企業	▲46.7	▲47.6	▲50.7	▲48.4	▲54.0

□ 設備水準判断 DI (回答社数構成比「過剩」-「不足」・%ポイント)

業種		2023年 4~6月	7~9月	10~12月	2024年 1~3月	4~6月	
全産業		▲2.0	▲4.7	▲4.8	▲6.6	▲4.6	
製造業		4.5	1.4	▲2.1	▲4.9	▲0.7	
非製造業		▲7.7	▲9.8	▲7.2	▲7.9	▲8.1	
卸小売業		▲11.1	▲8.9	▲8.6	▲9.1	▲10.4	
建設業		▲4.5	▲2.3	0.0	▲2.3	▲2.5	
サービス業		▲6.3	▲15.9	▲10.5	▲10.7	▲9.4	
規模別	製造業	大企業	2.5	▲2.5	0.0	▲2.7	2.6
		中小企業	5.1	2.8	▲2.8	▲5.8	▲1.8
	非製造業	大企業	▲20.7	▲20.7	▲10.0	▲12.1	▲18.8
		中小企業	▲5.3	▲7.6	▲6.6	▲6.8	▲5.7

■ 調査概要

- ・ 企業経営者を対象にした調査で、業況、売上高、経常利益、受注、生産、価格など、企業活動に関する現状と見通しを数字で表したものである。具体的には、個々の項目毎に、良い、好転（増加等）と回答した企業から、悪い、悪化（減少等）と回答した企業割合の差を算出するほか、当期の水準を前年同期と比較、検討し、その動きから景気全体の趨勢を判断する。

◆ 調査対象期・実施時期・為替レート

- ・ 対象期 2024 年 4～6 月期、見通し 24 年 7～9 月期
- ・ 実施時期 24 年 6 月中旬～24 年 7 月上旬
- ・ 平均為替レート 24 年 4～6 月：155.76 円/\$（1～3 月：148.56 円/\$）

◆ 対象県内企業・事業所

		製造業			非製造業			卸・小売	建設	サービス	大企業	中小企業	合計
		大	中小	大	中小								
合計	対象先数	262	55	207	361	44	317	145	78	138	99	524	623
	回答先数	154	39	115	171	32	139	67	40	64	71	254	325
回答率 (%)		58.8	70.9	55.6	47.4	72.7	43.8	46.2	51.3	46.4	71.7	48.5	52.2

(注) 企業規模別のうち大企業は、製造業、建設業、運輸業の従業員規模が 300 人超、それ以外の非製造業は 100 人超

◆ 製造業の想定為替レート（平均）

	2023 年度	2024 年度
ドル円	140.87 円 (140.00 円)	146.69 円 (150.00 円)
ユーロ円	152.33 円 (155.00 円)	157.00 円 (160.00 円)

※ 括弧内は中央値

以上